

日本水環境学会第 55 回年会併催 オンラインセミナー (2 件)

『IC-MS/MS を用いた陰イオン類・極性農薬の分析と プロセスイオンクロマトグラムによる分析のリモート管理のご紹介』

日時 2021 年 3 月 10 日 (水) 12:20~13:20
会場 オンライン (Zoom、55 回年会特別会場2)
主催 サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社
参加費 無料、Zoom 画面上の参加者名リストが主催者に提供されます。
(このセミナーへの参加は第 55 回年会参加者に限ります。)

演者 中西 雄一 (サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社クロマトグラフィー&MS 事業部)

テーマ 上水試験法ではさまざまな分析装置を用いて水質管理が行われています。海外での極性物質の分析にはイオンクロマトグラフに質量分析計を組み合わせた IC-MS/MS 法が採用されており、陰イオン・臭素酸・ハロ酢酸の一斉分析や極性農薬の測定が行われています。本セミナーでは IC-MS/MS 法に必要な分析機器の構成とそのメソッドによる一斉分析の精度向上並びに利便性についてご紹介します。コロナ禍で人的な作業の低減やリモートでの分析管理が期待されています。プロセスイオンクロマトグラム(PIC)を採用することで系統からの直接サンプリングができ、迅速かつリモートでの分析管理を実現します。水質異常時もより迅速な対応に導く PIC を採用した水道管理における活用案についても併せてご紹介します。

『水中 PFAS 分析におけるポイントと自動化製品のご紹介』

日時 2021 年 3 月 11 日 (木) 12:20~13:20
会場 オンライン (Zoom、55 回年会特別会場2)
主催 ジーエルサイエンス株式会社
参加費 無料、Zoom 画面上の参加者名リストが主催者に提供されます。

(年会参加者以外で参加をご希望の方は kikaku@glsc.co.jp (@は半角に変更) にご連絡ください。
ジーエルサイエンスホームページの以下 URL から参加申し込みが可能です。
https://www.glsc.co.jp/contactus/webinar_water_analysis.html)

演者 (ジーエルサイエンス株式会社)

テーマ 有機フッ素化合物であるペルフルオロオクタンスルホン酸 (PFOS) 及びペルフルオロオクタン酸 (PFOA) は、昨年、水質環境基準の要監視項目、水道水質基準の水質管理目標設定項目にそれぞれ設定されました。分析法として、固相抽出-液体クロマトグラフ質量分析法が採用されていますが、有機フッ素化合物は、撥水剤や分析機器用の部品として汎用的に使用されているため、サンプリングや分析におけるコンタミネーションの抑制に細心の注意を払う必要があります。本セミナーでは、お客様から寄せられたお問い合わせや弊社が経験した事例を元に、分析におけるポイントを紹介します。また、PFAS 専用の前処理用器具や、効率化と精度向上を実現する自動化製品をご紹介します。